

## 人間環境学研究科 人間環境学専攻 博士後期課程

### 【教育研究上の目的】

人間環境学専攻では、人間活動と地球環境の持続的な関係を追求すべく、そのための有用な人材の育成と知的貢献に資する教育研究の実践を目的とする。

### 【教育目標】

人間環境学専攻は、持続可能な社会、循環型社会への転換をめざし、ひとりひとりの自発的・積極的な活動が求められる時代において、新しい社会の創出に向けて、具体的な課題を見出し、人間関係の構築、地球環境の保全のための計画づくりや実践力を有する人材を育成することを教育目標とする。

### 【ディプロマ・ポリシー】

人間環境学専攻では、人間活動と地球環境の持続的な関係に向けての実践力を有する人材の育成という教育目標に基づき、所定の単位を修得し、博士論文の審査および最終試験に合格した学生に対し、以下の知識・能力を身につけていることはもとより、環境に関わる課題を発見し、それを解決するための研究を構成し、さらに遂行していく能力を獲得し、高度な専門的業務への従事または研究者として自立し得ると判断できた場合に、課程修了の認定と博士（人間環境学）の学位授与を行います。

1. 人間とそれをとりまく環境に関わる広範な知識と体系的に理解している。
2. 環境に関わる情報を論理的に分析する能力を情報リテラシー技能とともに身に付けている。
3. 環境課題を人間系との関わりをもとに発見し、高い倫理観のもとでその解決策を提案できる。
4. 自らを律して知識習得・研究活動を進めることができ、研究に関する議論が行えるコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を備えている。
5. これまでに獲得した知識・技能に基づき、総合的に課題解決を図ることができる。

### 【カリキュラム・ポリシー】

人間環境学は、人間をとりまく科学技術、文化、経済などと環境の相互作用を扱う、従来分野の境界領域に位置する新しい学問分野であるため、幅広い視野と豊かな創造力、深い倫理観を醸成するためのコースワーク科目として「人間環境学特殊講義」を、高度な専門知識を習得し、先進的な研究活動に取り組むことのできるリサーチワーク科目として「人間環境学特殊研究」を配置し、いずれも能動的な学修が行えるようにします。

### 【アドミッション・ポリシー】

人間環境学専攻では、人間とその環境に深く関心を持ち、文理融合の知と専門的な技術、そしてそれらを発揮できる高度な実践力を身に付けようとする創造力と意欲に富み、以下の能力を身に付けていることはもちろん、これに加えて深い学識と高度な技術習得に裏付けられた高い研究能力を身に付けて、専門的職業人や研究者として積極的に社会に貢献しようとする学生を募集します。

1. 環境に関連する1つ以上の分野における基礎的な知識と分析の技能を備えている。
2. 自ら課題を発見し解決するために必要な、思考力と判断力を有する。
3. 高度な専門分野の学修と研究活動を主体的かつ他者と協働して行うための積極的な意欲と表現力を兼ね備えている。
4. 深い探究心を持ち、高度な専門性を必要とする職務を担おうとの目標を持っている。

(選抜方法)

なお、入学者選抜は以下の方法および比重とし、論理的思考、論述能力、研究業績と研究計画、口頭試問への対応力等の多角的な評価を行います。

- ・外国語(33%)、論文(33%)、面接(33%)